



6K PHOTO/4K PHOTO かんたんガイド

デジタルカメラ/レンズキット/ボディ

品番 DC-GH5M/DC-GH5

DVQW1069ZA

ご使用の前に、取扱説明書の「安全上のご注意」を必ずお読みのうえ、正しく安全にお使いください。

「6K/4K フォト」・「フォーカスセレクト」の操作については
裏面をお読みください



「6K/4K フォト」の特長

高速連写をオートフォーカスで撮影できる

AF連続動作により、被写体にピントを合わせながら高速連写するため、今までとらえきれなかった瞬間を撮影することができます。(オートフォーカス撮影時)



シャッター音なしに高速連写ができる

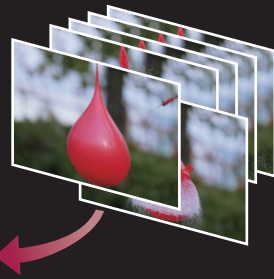
6K/4K フォトは電子シャッターで撮影するので、サイレントモードと組み合わせると撮影すれば、シャッター音のない高速連写ができ、音に反応してしまう動物の撮影に効果を発揮します。



写真と同じ撮影情報(Exif 情報)を記録

選んで保存する写真には撮影情報が記録されます。撮影時の設定の確認や、写真の管理に便利です。

撮影情報(Exif情報)		
撮影日時	シャッタースピード	記録画素数
露出	ISO感度	レンズ焦点距離
絞り値	ホワイトバランス	色空間情報
		など



本当に欲しかった瞬間を手に入れる。

©Bence Máté 2015

9 種から選べる 6K/4K フォト

画素数と連写速度 3 種 × 撮影スタイル 3 種 = 9 種

「6K PHOTO」は、6K サイズ(横 6,000×縦 3,000 前後)の映像が有する画素数(約 18 メガ)と同程度の有効画素数を持つ 4:3、3:2 の写真用横縦比の映像から、写真を選び出し、保存する高速連写撮影機能です。

1 画素数と連写速度から選ぶ「6K/4K フォト」



6K 18M



4K H 8M

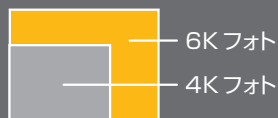


4K 8M

画素数 18M 連写速度 30コマ/秒

6K フォトが実現する、高画素・高速連写

通常の写真と同等の画素数で高速連写ができます。
A1 程度までプリントできます。



横縦比	画素数
[4:3]	4992×3744 (18M)
[3:2]	5184×3456 (18M)

画素数 8M 連写速度 60コマ/秒

秒間 60 コマの高速連写

他の 6K/4K フォトに比べて連写速度が 2 倍。より高速な連写を求める場合に最適です。

4K フォトでは、どの横縦比を選んでも約 800 万画素の写真で保存することができます。A3 程度までプリントできます。

画素数 8M 連写速度 30コマ/秒

長時間の高速連写に最適

他の 6K/4K フォトに比べて必要なデータ容量が小さいので、長時間におよぶ記録をすべて残す場合に適しています。

[4:3]
3328×2496

[3:2]
3504×2336

[16:9]
3840×2160

[1:1]
2880×2880

2 撮影スタイルから選ぶ「6K/4K フォト」



6K/4K 連写



6K/4K 連写(S/S)



6K/4K プリ連写

撮影シーン/被写体 スポーツ、飛行機、鉄道など

連続した動きのベストな一瞬をとらえる

シャッターボタンを押している間、高速連写で撮影します。
“連写したがピッタリなコマがない!”といった不満は、高速連写の 6K/4K 連写が解消します。

6K/4K 連写なら



高速連写で
ピッタリの瞬間をとらえる

通常の撮影



失敗

ピッタリのコマがない!

撮影シーン/被写体 植物、動物、子どもなど

不意に訪れる決定的な瞬間をとらえる

“S/S”とは“Start/Stop”の略で、シャッターボタンを押すと連写撮影を開始し、もう一度押すと終了する、長時間の連写に適した操作を表しています。
自然現象などの先の読めない被写体のシャッターチャンスを、長時間の連写撮影でとらえます。

6K/4K 連写(S/S)なら



長い時間撮り続けることで
シャッターチャンスをとらえる

通常の撮影



失敗

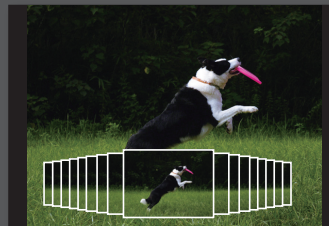
タイミングを逃がす!

撮影シーン/被写体 ボールを投げる瞬間など

タイミングがピッタリの写真を作る

タイミングが“早かった”、“遅かった”といった経験はありませんか?
6K/4K プリ連写では、シャッターボタンを押した瞬間の前後約 1 秒の画像から“ピッタリ”な瞬間を選べます。

6K/4K プリ連写なら



ピッタリな瞬間を選べる

通常の撮影



失敗

タイミングが合わない!

撮影後にピントを操作する「フォーカスセレクト/フォーカス合成」

フォーカスセレクト

ピントの位置を選ぶ

6K/4K 連写でピント位置を変化させながら撮影できます。
撮影後に画面内の位置を選び、その位置にピントが合った写真を保存できます。



フォーカス合成

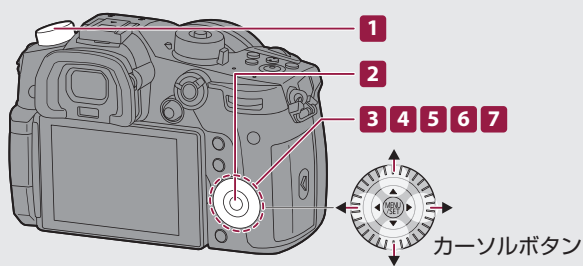
ピントの合う範囲を広げる

フォーカスセレクトで撮影した画像から複数の写真を合成し、ピントが合う範囲を広げた 1 枚の写真を作ります。

被写体の手前から奥までピントの合う写真を、撮影後に合成できます。



1 6K/4Kフォトを選ぶ



● 撮影時はUHS Speed Class 3 のカードをお使いください。

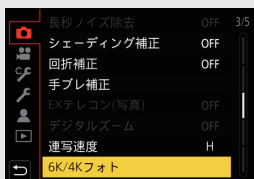
1 ドライブモードダイヤルを [P] (6K/4K フォト) に合わせる



2 [MENU/SET] ボタンを押し、撮影メニューを表示する

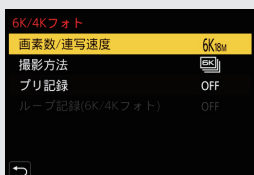


- 撮影メニューの選び方
- ① ◀ ボタンを押す
- ② ▲/▼ ボタンを押して、[P] (撮影) メニューを選ぶ
- ③ ▶ ボタンを押す



3 ▲/▼ ボタンで [6K/4K フォト] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

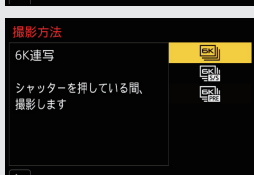
4 ▲/▼ ボタンで [画素数/連写速度] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す



5 ▲/▼ ボタンで画素数と連写速度を選び、[MENU/SET] ボタンを押す



6 ▲/▼ ボタンで [撮影方法] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す



7 ▲/▼ ボタンで撮影方法を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- 設定後は、シャッターボタンを半押しして、撮影画面を表示してください。

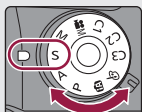
6K/4K フォトが苦手な撮影シーン

室内での撮影

蛍光灯やLEDなどの照明下で撮影すると、色合いや明るさが変わったり、画面に横しまが現れたりすることがあります。シャッタースピードを遅くすると横しまが軽減されることがあります。

● 被写体ブレを抑えて撮るにはシャッタースピードを速くします

1 モードダイヤルを [S] に合わせる



2 前ダイヤルまたは後ダイヤルを回してシャッタースピードを設定する

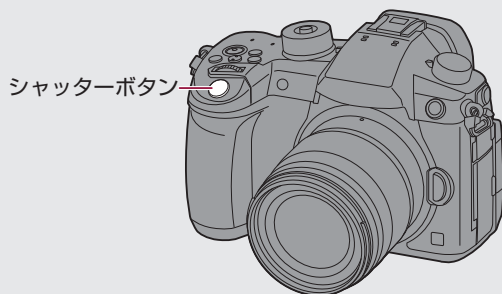
- 晴天の屋外でのシャッタースピードの目安：1/1000 秒以上
- シャッタースピードを速くすると、ISO 感度が高くなり、画面にノイズが増えることがあります。



● 本機の温度やバッテリーの消耗について

- 6K/4K プリ連写を設定時や [プリ記録] を設定しているときは、バッテリーの消耗が早くなり、本機の温度も上昇します。撮影するときだけ、設定してください。

2 6K/4Kフォトを撮る



● 記録方式 [MP4] 形式の6K/4K 連写ファイルが保存されます。

6K/4K 連写

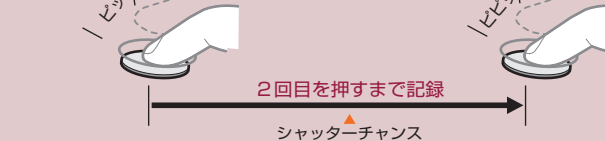
1 半押しする **2** 全押ししたままにする **3** ボタンから指を離す



● 全押ししてから約0.5秒後に撮影が開始されるので、早めに全押ししてください。

6K/4K 連写(S/S)

1 全押しする **2** もう一度全押しする



● 写真を選び保存するときの目印を記録する

撮影中に [Fn2] ボタンを押すと、マーカーを付けることができます。再生中は、マーカーを付けたコマを素早く表示できます。

● ループ記録を設定する

[MENU] ボタン→[P] [撮影]→[6K/4K フォト]→[ループ記録(4K フォト)]→[ON]
古いデータを消去しながら記録します。カードを交換せずに長時間撮影できます。
● 約2分ごとに分割し、最新の約10分間(最大約12分間)を記録します。
それ以前の部分は消去されます。
● [6K 18M] に設定時、[ループ記録(4K フォト)] は使用できません。

6K/4K プリ連写

1 全押しする



● 被写体が中央にないとき

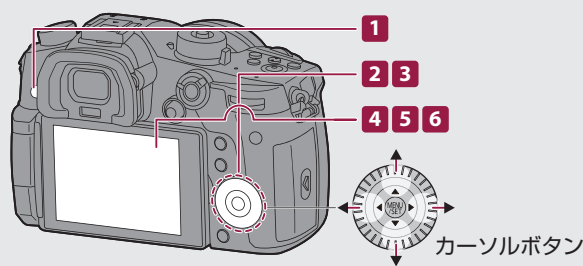
AF/AE ロックでピントや露出を固定してください。

● 全押しする前から記録する(6K/4K連写、6K/4K連写(S/S))

[MENU] ボタン→[P] [撮影]→[6K/4K フォト]→[プリ記録]→[ON]
全押しする約1秒前から記録し、シャッターチャンスを逃すことを防ぎます。

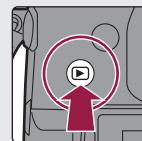
- 以下の条件でファイルは分かれて保存・再生されます。(撮影は中断しません)
SDHCメモリーカード使用時：ファイルサイズが4 GBを超える場合
SDXCメモリーカード使用時：連続記録時間が3時間4分を超える場合、ファイルサイズが96 GBを超える場合

3 写真を選び 保存する



- 写真はJPEG形式で保存されます。
- オートレビューを設定している場合は、撮影後に写真を選ぶ画面が自動で表示されます。

1 [P] (再生) ボタンを押す



2 ◀/▶ ボタンで6K/4K 連写ファイルを選ぶ

- 6K/4K 連写ファイルには [P] または [P] が表示されます。

3 ▲ ボタンを押す

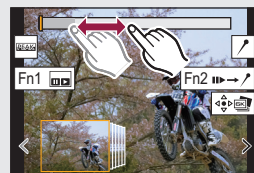
- 6K/4K プリ連写で撮影した場合は、手順 5 へ進んでください。

4 スライドバーをドラッグし、おおまかにシーンを選ぶ



5 ドラッグし、保存するコマを選ぶ

- [◀] [▶] をタッチし続けると、連続してコマ戻し/コマ送りができます。



6 [P] / [P] をタッチし、写真を保存する

- 確認画面が表示されます。



撮影後に6K/4K フォトを補正する(ポストリファイン)

● 写真のゆがみを補正する(ローリングシャッター低減)

写真を保存するときに、電子シャッターによるゆがみ(ローリングシャッター)を補正できます。

- ① 上記の手順 6 の保存の確認画面で、[ローリングシャッター低減] をタッチする
 - 補正しても効果がない場合は、確認画面に戻ります。
- ② [保存] をタッチする
 - 補正すると画角が狭くなる場合があります。

● 写真のノイズを軽減する(6K/4Kフォトノイズ低減)

[MENU] ボタン→[P] [再生]→[6K/4K フォトノイズ低減]→[AUTO]

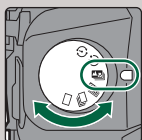
高いISO 感度で撮影することでノイズが発生する場合、写真を保存するときに低減します。

フォーカスセレクトで撮影する

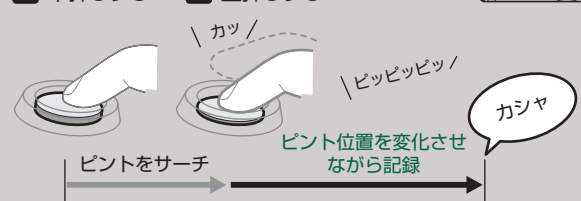
撮る

- 撮影時はUHS Speed Class 3 のカードをお使いください。
- 記録方式 [MP4] 形式の動画で記録されます。(音声は記録されません)
- フォーカス合成を行う場合は、三脚の使用をお勧めします。

1 ドライブモードダイヤルを [P] (フォーカスセレクト) に合わせる



2 構図を決めて、シャッターボタンを押す



- 撮影は自動で終了します。
- 画面内にピントが合う位置がない場合、フォーカス表示(●)が点滅し、撮影できません。
- 撮影終了までは、被写体との距離や構図が変わらないようにしてください。

● 画素数を選ぶ

[MENU] ボタン→[P] [撮影]→[フォーカスセレクト]

6K 18M	画素数の多い写真を作れます。
4K 8M	[EX テレコン(写真)] による拡大ができます。

ピント位置を選んで写真を保存する

1 [P] (再生) ボタンを押す



2 ◀/▶ ボタンでフォーカスセレクト撮影した連写ファイルを選ぶ



- フォーカスセレクト撮影した連写ファイルには [P] が表示されます。

3 ▲ ボタンを押す

4 ピントを合わせる位置をタッチする

- 選んだ位置にピントが合う写真がない場合は、赤い枠が表示され、写真を保存できません。
- [PEAKS] をタッチするとピントが合った部分に色をつけて表示します。(ピーキング) タッチすることによって検出レベルが切り替わります。([PEAKS] (低)→[PEAKS] (高)→[OFF])



● ピントを微調整する

- ① [P] をタッチする
- ② スライドバーをドラッグし、ピントを微調整する



5 [P] をタッチし、写真を保存する

- 写真はJPEG形式で保存されます。

フォーカス合成して写真を保存する

1 「ピント位置を選んで写真を保存する」の手順 4 のピントを合わせる位置を選ぶ画面で、[P] (Fn1) をタッチする

2 合成方法をタッチする

[自動合成]

- 合成に適した写真を自動で選び、1 枚の写真に合成します。
- 近距離側の写真を優先して選びます。
- 選択すると合成が実行され写真が保存されます。

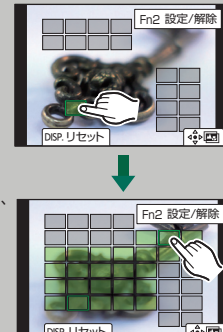
[指定範囲合成]

選択したピント位置の写真を1 枚の写真に合成します。

3 ([指定範囲合成] 選択時)

ピントを合わせる位置をタッチする

- 2 点以上の位置を選んでください。
- 2 点のピントの間にピントがある位置も一緒に選択され、ピントが合う範囲が表示されます。
- 選択すると不自然な写真に合成される場合がある範囲、または選択できない範囲が、グレーで表示されます。
- もう一度、タッチすると選択が解除されます。



4 [P] をタッチし、写真を合成し保存する

- 写真はJPEG形式で保存されます。